

緑の担い手

林業に就いてみて

美和木材協同組合

鈴木 瞬



私は、大子清流高校の森林科学科を卒業し、美和木材協同組合に入社しました。この会社を選んだ理由は、三年間森林について学んだことと、自然が好きで林業に就いてみたいと思ったからです。そして会社見学をしたときに、大子清流高校の先輩達が一生懸命に汗を流して働いている姿を見て、自分もこのような仕事がしたいと思っただからです。

入社してまずは、造林班に配属になり、植付けの仕事をしました。最

初はうまく植えることができませんでしたが、先輩方に教わりながら少しずつ上達することができました。

次に下刈です。先輩方に「きつい仕事だよ」と言われていましたが、何とか耐えられました。下刈では、サマータイムというものがあって、朝四時に集合し仕事が始まります。当時はまだ体が慣れず大変でした。次に保育間伐作業では伐倒、枝払いや玉切りなどを経験しました。

私は、今年目となり、新しく入社してきた後輩がいます。今度は教える立場になったので、一年間の経験ですが、分かりやすく後輩に教えていきたいと思っています。

また、緑の雇用集合研修を通していろいろなことを学びました。ほかの事業体に就いている人たちと意見交換をしながら楽しく学んでいます。会社によってそれぞれやり方が違うので勉強になります。

講義では、森林・林業について詳しく学んだり、林業機械の研修も受けました。チェーンソーのメンテナンスや森林作業の安全対策についても多くのことを学びました。

今後はこれまで学んだことを活かすとともに、林業機械の資格を取り、いろいろな機械を操作して仕事をしていきたいと考えています。林業に就いてみて後悔などしたことはありません。楽しい仕事だと思います。